

1

【ハレルヤ神の聖所で】

G C G D7
ハレルヤ 神の聖所で 神をほめたたえよ
G C G D7 G
み力の大空で 神をほめたたえよ
C G D7
その大能のみわざのゆえ 神ほめたたえよ
G C G D7 G
すぐれた偉大さのゆえ 神をほめたたえよ

【ホザナ高らかに】

1. G D7 Em C D7
ホザナ ホザナ ホザナ 高らかに
G D7 Em C D7
ホザナ ホザナ ホザナ 高らかに
C D7 G C D7 G
主よ あなたの 御名あがめます
C D7 G B7 Em C D7 G
賛美に満たされて ホザナ高らかに

2.
グローリー グローリー グローリ 主の御名を
グローリー グローリー グローリ 主の御名を
ほめたたえよ ころろ満たされ
賛美に満ちあふれ グローリ主の御名を

【あがめます全能の主】

あがめます 全能の主 あなただけを
平和の主 あなたを 慕い求める
心から ほめ歌ささげ
あがめます 全能の主 あなただけを

【あなたの御顔を】

あなたの 御顔を 慕い求めます
心を尽くして あなたを愛します

5 祈りのガイドライン

1. 賛美と感謝の祈り ビリビ4の4~7
2. 悔い改めと主を慕い求める祈り 詩篇51
3. 個人的な願いの祈り ヨハネ15の7
4. とりなしの祈り 1テモテ2の1~4/エペソ4

- ①大和カルバリーチャペルと大川牧師ご夫妻のため
- ②瀬戸カルバリーチャペルと倉知牧師家族のため
- ③クリスチャンが成長し、整えられ、用いられますように
= 教会員が恵まれて、礼拝・祈禱会・奉仕・献金・伝道ができますように
- ④求道者が与えられ、救われますように→受洗者
- ⑤教会近隣の方が集われますように
- ⑥若い献身者が与えられますように
- ⑦ジョイキッズとユースの働きが充実しますように
- ⑧高齢の方々のフォローが十分になされますように
- ⑨Seto Life Art Studio が用いられますように
= ウクレレ・キッズ英語・ゴスペル・モンテッソーリ教室・音楽ミサなど
- ⑩50人→100人→200人と教会が成長しますように

5. 日本と世界とエルサレムの平和を願って...

- コロナ禍からの解放・医療従事者と政治判断のため
- ウクライナとロシアのために。戦争が終わるように。

信仰宣言

「私の家族は全員救われます」
「日本にはリバイバルが始まっています」
「私も用いられます」
「すべての問題は解決します」
「することなすこと、みな成功します」
「私のまわりには奇跡が起こります」
「すべてのことを感謝します」
「イエス様がご一緒ですから」
「ハレルヤ主よ感謝します」

瀬戸カルバリーチャペル Seto LIFE ART Studio

489-0909 愛知県瀬戸市みずの坂 5-64 0561-48-8899
牧師：倉知契 kei.kurachi@gmail.com



ハワイで「レイ」によく使われるプルメリアの花

祈りの小径(こみち)

Number: 119 瀬戸カルバリーチャペル

「祈りの小径(こみち)」の名称は、愛知県瀬戸市・せともの街の名所「窯垣の小径」と、詩人・八木重吉の作品にある「祈りの路」から名付けられました。各ページにある数字の順に、賛美→聖書→黙想→解説→祈りを致します。

2

今日の聖書のことば

ゆっくり読んで黙想しましょう。

マタイによる福音書11章28～30節

28 「すべて重荷を負うて苦労している者は、わたしのもとにきなさい。あなたがたを休ませてあげよう。

29 わたしは柔和で心のへりくだった者であるから、わたしのくびきを負うて、わたしに学びなさい。そうすれば、あなたがたの魂に休みが与えられるであろう。

30 わたしのくびきは負いやすく、わたしの荷は軽いからである」。

ユージン・ピーターソン訳 (Message Bible)

疲れているのですか。もうぼろぼろなのですか。

信仰生活・奉仕に燃え尽きたのですか。

わたしのもとに来なさい。

そこから出て、わたしと一緒に来なさい。

そうしたら生き返るだろう。

どうしたら本当の安息が得られるか教えてあげよう。

わたしと一緒に生活して、わたしと一緒に働きなさい。わたしがどのように生き、どのように働いているかをよく見なさい。無理のない、恵みに生きる生活のリズムを学びなさい。

わたしは、重い荷物やあなたに合わないものを負わせることはしません。わたしから離れずについて来なさい。そうしたら、自由のうちを、軽やかに生きる生き方を学べるだろう。

3

黙想(Life Art Meditation)の時間

(感じたこと・恵まれたことをノートします)

4

みことばの解説

「イエスに出会うということ」(Encounter with Jesus)の著者は、NY州マンハッタンで牧師をするリディーマーズ教会のティモシー・ケラー先生です。彼は、主流派プロテスタント教会で育ちましたが、大学時代、神や世界、また自分自身についてどう考えるべきかという大きな疑問に襲われ、精神的に葛藤していたそうです。そんなときに、出会ったバイブル・スタディが人生の転機になったそうです。とくに、聖書のテキストをそのまま味わい、イエス様の生涯と人々との出会いを丁寧に、時間をかけて味わうことで、思いがけない意味や洞察をいくつも発見したと言います。

その集まりの中では、ひとつの御言葉を30分味わい、気付いたことを30項目書き出す、というものがありません。「5分、10分で終わらせず、さらに深く味わってみてください！」とリーダーに促されて挑戦してみると、最も心を動かされる洞察を得た人のほとんどは、最初の数分でなく、最後の数分でその真理に出会いました。つまり、忍耐深くみ言葉と向き合うことで、より深い洞察を得、イエス様ご自身を知り、自分自身の生き方に影響を与えるものなのだ、という内容を書いています。

いかがでしょうか。私たちも御言葉を味わい、それを3～5分ほど黙想することをしていきます。それは大きな力になっていきますが、30分とは！なかなかのチャレンジです。しかし、もしイエス様への渇きと信仰生活の成長を願うならば、価値のある挑戦です。以下は、ティモシー・ケラー牧師のことばです。

時間をかけて、素直さと信頼という適切な態度で向かえば、神は聖書を通して私に語りかけてくれるのだと発見したのです。

